

令和4年度 第2回桐生市環境先進都市将来構想推進協議会 議事録

1. 日時

令和4年10月13日（木）18：30～19：20

2. 場所

桐生市役所 新館5階 501会議室

3. 出席者

(1) 委員（14人）

会 長：天谷 賢児〔群馬大学大学院理工学府 教授〕
副 会 長：近藤 圭子〔きりゅう市民活動推進ネットワーク 理事長〕
委 員：西蘭 大実〔群馬大学共同教育学部 教授〕
藤生 五郎〔桐生商工会議所 副会頭〕
茂木 理亨〔桐生商店連盟協同組合 副理事長〕
深澤 光秋〔新田みどり農業協同組合 総務部長〕
新井 悠大〔桐生広域森林組合 業務部部長〕
今泉 芳雄〔桐生市家畜自衛防疫協議会 会長〕
佐羽 宏之〔2015年からの生活交通をつくる会 会長〕
小島 由美〔未来創生塾 副塾長〕
中野 久美〔桐生市女性人材リスト（建築設計）〕
村上 恵理〔桐生瓦斯株式会社営業部 次長兼特需課長〕
(欠席者) 根津 紀久雄〔特定非営利活動法人北関東産官学研究会 会長〕
坂本 久美子〔桐生市女性人材リスト（農業委員・花き栽培）〕

(2) 事務局（4人）

高橋環境課長
金子環境都市推進係長
高橋主任
片貝主事

4. 議題

- (1) ・ 令和3年度の桐生市環境先進都市将来構想実施計画の実績について
・ 令和4年度の桐生市環境先進都市将来構想実施計画の進捗状況について
・ 桐生市環境先進都市将来構想追補版に掲げられた重点施策の進捗状況について
- (2) その他

5. 議事要旨等

(1) 令和3年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画の実績及び令和4年度の桐生市環境先進都市将来構想実施計画の進捗状況について報告を行った。また、桐生市環境先進都市将来構想追補版に掲げられた重点施策の進捗状況の報告を行った。

(2) その他

なし

6. 委員意見（質疑応答）

○令和3年度の桐生市環境先進都市将来構想実施計画の実績及び令和4年度の桐生市環境先進都市将来構想実施計画の進捗状況について

【会 長】

評価の方式は過年度実績の累計となるのか。

【事務局】

評価は単年度の評価形式となる。

【会 長】

これまでの累計評価も示してほしい。

【副会長】

『その他』の項目はどのような性質となるのか。

【事務局】

単年度では実現が難しい項目が主となる。

【委 員】

災害に備えた設備の導入とし、国では防災対策の補助金があることから先を見越して導入を検討してほしい。検討している場合には、検討の経過を記載していただきたい。また、難しい場合においてはその理由を記載していただきたい。

【委 員】

各項目においては、実績のあるものだけを記載するのではなく、評価が難しいものについてもどのように進捗しているかを記載していただきたい。また、コンパクトシティの計画の項目で、評価が100%となっているが、制度の啓発や許可届け出業務を実施しているだけでの評価としては難しいと思われる。全体的な計画の中での現状を評価すべきである。

【会 長】

実施計画に項目立てしている事業の規模感が分かりにくい。必ず実施すべき事業なのか。また、全体の計画の中でどの程度進捗しているのかが分かると良いと感じる。やりたいけどできなかった事を議論するのが建設的であり、見える形で示すとより分かり易いと感じる。

【委 員】

将来構想は、再エネをどのように導入していくかがメインテーマとなっていた。実績としてはバイオマス・小水力関係は進んでいない。今すぐできるものではないが、物質的に課題が出てきている。課題を共有しながら現実的に考えていくことが重要であり、できていないことを議論することが重要である。

【事 務 局】

これまでの前期5年間は、各項目においての評価と事業を報告し、委員様より意見聴取を行ってきた。また、初年度からの実績の積み上げとなる累計の進捗状況も資料としてお示ししてきた。そのような中で実施項目が多く、また、各項目の最終目標がわかりづらいことが改善点として上げられた。後期は、その内容を踏まえた将来構想追補版を策定した。

進捗管理において、将来構想追補版は、将来構想の項目から重点施策となる項目を抽出し、かつ、抽出した項目を推進することとなったため、将来構想全体での評価ではなく、重点項目を重視した評価視点となっている。前期5年の様な将来構想全項目での評価が分かり易いのであれば次回より追加資料として用意する。

○桐生市環境先進都市将来構想追補版に掲げられた重点施策の進捗状況について

【会 長】

充電設備の導入について、市内にはどの程度整備されているのか。

【事 務 局】

充電設備において、今現在市が設置しているのはシルクル桐生・道の駅くろほねやまびこ・市民文化会館の3か所となる。その他自動車販売店が主となる。

【会 長】

何年までに何か所導入するのか進捗管理が重要と考える。予算審査の中で戦略的に実施できればと感じる。

【委 員】

商工会議所の要望にて充電器設置を要望している。新規では今後どこに導入予定となるか。

【事務局】

今後は市役所本庁舎建設に合わせて急速充電器の導入が予定されている。

【委員】

ガソリン車であれば残り2、3キロでスタンドに駆け込む人はいると思うが、EVは電気が0になるまで乗るような人はあまりいないと思う。設備を必要以上に設置しなくても良いと感じる。

【会長】

桐生市の適正な数はいくつかで、今何か所整備されたのか指標が示されると良い。

【委員】

AEDのようなイメージで、あれば安心できる。多くあっても良いと思う。

【委員】

電気自動車も電気を使うのでそもそも環境に配慮したものでもない。充電する電力は化石燃料で発電されたものである。桐生市内にEVは何台位登録されているのか。充電器が多くても意味がない。充電は夜EVに乗ってないときに行うものである。自宅で充電できれば必要性があまりなくなる。確かな指標を出すのは難しいと思う。

【会長】

全ての車をEVにしてしまうと発電所が足らなくなる問題もある。

【委員】

EV自動車の走行距離を少なくすることが重要だと考える。

【会長】

1人乗りのナローモビリティを普及させることが必要と感じる。

電動アシスト自転車の補助は、車からの利用転換が目的であるため良いと感じる。

※協議会終了後、令和4年度第3回桐生市環境先進都市将来構想推進協議会『ゆっくり
ズムのまち桐生』ワーキンググループを開催した。

— 以上 —